

「大切な命」

～豊橋・学校いのちの日～

豊橋市は、6月18日を「豊橋・学校いのちの日」としています。11年前の6月18日、豊橋市内の中学校で野外活動中、一人の尊い命が失われました。豊橋市では、この事故を風化させないように6月18日を「豊橋…学校いのちの日」としています。この日の前後に、豊橋市内の各学校で命の大切さについて考える授業や行事等を行っています。本校では、この日に学校公開日を行う予定でしたが、先日お知らせしましたように新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため、中止とさせていただきます。

学校では、全校朝会や授業で「いのち」について考えたり、話したりする取り組みを行っています。

目に見えない大切なもの

全校朝会にて【放送】6月9日

子どもたちに次のような話をしました。

大切な命。どこにあるのかな？心臓？心臓はとても大切ですね。心臓は、体全体に血液を送る大切なところですよ。でも、目に見えない大切なものもあります。空気は目に見える？風が見える？でもその空気があるから私たちは生きています。(略)命があるから、時間が使えます。一度しかない自分の時間を大切にしていきましょう。その時間を自分だけでなく、自分以外の何かのために使うことを学んでいってほしいと思います。

5年生 野外教育活動



6月22日、5年生は野外教育センターで野外学習を行いました。今年度は1日の日程でしたが、どの子も笑顔で元気いっぱい活動しました。避難所設営、昼食は非常食、午後にはレクリエーション等、貴重な体験をしました。「協力」を合言葉にいつもの学校生活とは違った体験ができ、よい思い出となりました。